

平成28年度

事業報告

社会福祉法人  
田原市社会福祉協議会

# 目次

<b>◎法人運営</b>		
1	法人運営事業	1
2	結婚相談事業	5
3	共同募金事業	6
<b>◎地域福祉活動</b>		
4	ボランティアセンター運営事業	8
5	生活ささえあいネット事業	11
6	地域福祉ネットワーク事業	13
<b>◎福祉サービス利用支援</b>		
7	成年後見センター事業	18
8	日常生活自立支援事業	19
9	資金貸付事業	20
10	心配ごと相談事業	21
11	障害児相談支援事業	22
12	一般相談支援事業	22
13	特定相談支援事業	23
14	高齢者支援（地域包括支援）センター事業	25
15	生活困窮者自立相談支援事業	27
16	生活困窮者就労準備支援事業	28
17	障害福祉サービス事業	29
18	就労移行支援事業	29
19	移動支援事業	30
20	日中一時支援事業	30
<b>◎在宅福祉サービス（介護保険事業等）</b>		
21	居宅介護支援事業	31
22	訪問介護事業	32
23	福祉車両運行サービス事業	33
24	配食サービス事業	33
25	高齢者介護予防事業	34
<b>◎施設・指定管理</b>		
26	田原福祉センター及び赤羽根福祉センター管理運営	36
<b>◎事業報告の附属明細書</b>		
	事業報告の附属明細書について	37

本会は、田原市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、次の事業を実施しました。

## ◎法人運営

### 1 法人運営事業

予算現額	決算額	差異
73,746,000円	60,633,658円	13,112,342円

#### [目的]

社会福祉法第109条に規定する市町村社会福祉協議会として、田原市社会福祉協議会の事業全体の管理、組織管理を適正に行います。

#### [主な事業内容・実績]

市派遣職員3人、正規職員30人、準職員7人、常勤臨時職員13人、非常勤臨時職員（登録ヘルパー含む）48人の計101人（平成29年3月31日現在）により、田原市社会福祉協議会の全事業を実施しました。

- 理事会、評議員会等の開催
- 啓発及び広報活動 広報誌は奇数月発行（年6回）
- 職員研修の実施
- 福祉関係団体の活動支援
- 基盤強化計画の推進
- 法人運営に係る企画及び実施
- 高齢者世話付住宅への生活援助員派遣
- 社会福祉基金及びボランティア基金の適正管理

#### (1) 理事会、評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

##### ア 理事会

(ア) 第1回理事会 平成28年5月30日 於田原福祉センター  
議事

- 第1号議案 評議員の選任について
- 第2号議案 定款の変更について
- 第3号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
- 第4号議案 準職員就業に関する規則の一部改正について
- 第5号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
- 第6号議案 平成27年度事業報告について
- 第7号議案 平成27年度決算について

(イ) 第2回理事会 平成28年12月16日 於田原福祉センター  
議事

- 第8号議案 評議員の選任について
- 第9号議案 第三者委員の選任について
- 第10号議案 定款について

- 第11号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
  - 第12号議案 評議員選任・解任委員の選任について
  - 第13号議案 評議員選任規程の一部改正について
  - 第14号議案 評議員候補者の選出について
  - 第15号議案 部会及び委員会設置規程について
  - 第16号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
  - 第17号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の制定について
  - 第18号議案 表彰規程の制定について
  - 第19号議案 職員就業に関する規則の一部改正について
  - 第20号議案 準職員就業に関する規則の一部改正について
  - 第21号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
  - 第22号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
  - 第23号議案 職員の育児休業等に関する規程の一部改正について
  - 第24号議案 嘱託職員の雇用に関する規程について
  - 第25号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
  - 第26号議案 退職金支給規程について
- (ウ) 第3回理事会 平成29年3月30日 於田原福祉センター  
議事
- 第27号議案 副会長の選任について
  - 第28号議案 事務局規程の一部改正について
  - 第29号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
  - 第30号議案 経理規程の一部改正について
  - 第31号議案 平成28年度補正予算（第1号）について
  - 第32号議案 平成29年度事業計画について
  - 第33号議案 平成29年度予算について

## イ 評議員会

- (ア) 第1回評議員会 平成28年5月30日 於田原福祉センター  
議事
- 第1号議案 理事の選任について
  - 第2号議案 定款の変更について
  - 第3号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
  - 第4号議案 準職員就業に関する規則の一部改正について
  - 第5号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
  - 第6号議案 平成27年度事業報告について
  - 第7号議案 平成27年度決算について
- (イ) 第2回評議員会 平成28年12月16日 於田原福祉センター  
議事
- 第8号議案 理事の選任について

- 第 9 号議案 定款について
- 第 10 号議案 評議員選任規程の一部改正について
- 第 11 号議案 部会及び委員会設置規程について
- 第 12 号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- 第 13 号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の制定について
- 第 14 号議案 表彰規程の制定について
- 第 15 号議案 職員就業に関する規則の一部改正について
- 第 16 号議案 準職員就業に関する規則の一部改正について
- 第 17 号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
- 第 18 号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
- 第 19 号議案 職員の育児休業等に関する規程の一部改正について
- 第 20 号議案 嘱託職員の雇用に関する規程について
- 第 21 号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
- 第 22 号議案 退職金支給規程について
- (ウ) 第 3 回評議員会 平成 29 年 3 月 30 日 於田原福祉センター  
議事
  - 第 23 号議案 事務局規程の一部改正について
  - 第 24 号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
  - 第 25 号議案 経理規程の一部改正について
  - 第 26 号議案 平成 28 年度補正予算 (第 1 号) について
  - 第 27 号議案 平成 29 年度事業計画について
  - 第 28 号議案 平成 29 年度予算について

#### ウ 監査会

- 第 1 回監査会 平成 28 年 5 月 16 日 於田原福祉センター  
監査事項
  - a 平成 27 年度事業報告について
  - b 平成 27 年決算報告について

#### (2) 啓発及び広報活動

機関誌「社協だより」の発行(年 6 回・奇数月)を校区コミュニティ協議会及び地区自治会の協力を得て配布し、福祉事業の周知啓発と社協事業の P R を行いました。また、ホームページの情報掲示板を活用し、福祉イベントや各地域でのイベント開催案内等の情報を発信しました。

#### (3) 会員募集

社会福祉協議会の事業について各方面でご理解をいただけるよう P R をしながら会員募集を行いました。また、校区コミュニティ協議会や地区自治会に特別会員としてのご協力をいただきました。

ア 募集実績

会員種別	平成28年度	平成27年度
一般会員 (個人 1口1,000円以上)	916件 (1,025,000円)	959件 (1,029,720円)
特別会員 (法人、自治会、団体 1口2,000円)	238件 (2,303,531円)	218件 (2,032,740円)
合計	1,154件 (3,328,531円)	1,177件 (3,062,460円)

イ 会費使途

予算区分	内容	金額(円)	割合(%)
法人運営事業	社協だより(年6回発行)発行費	1,008,800	30.3
	福祉バス(29人乗、1台)リース代	1,062,720	31.9
	福祉のつどい開催経費の一部	242,436	7.3
地域福祉ネットワーク事業	シルバーサロン(14グループ)助成	340,000	10.2
	社会福祉協力校(27校)助成	674,575	20.3
合計		3,328,531	100.0

(4) 福祉のつどい等福祉啓発事業

平成28年11月13日に田原市総合体育館及び田原文化会館において、社会福祉活動の輪を広げるため「第30回福祉のつどい」を開催しました。

多年にわたり社会福祉の増進に寄与した功績顕著な方々に表彰状及び感謝状を贈呈する表彰式を行うとともに、人権擁護委員会・福祉協力校の活動発表・講演会・各種展示・バザー・体験教室・模擬店を実施し、市民の社会福祉意識の高揚と啓発に努めました。

なお、蓮池薫氏による講演会のほか、コンサート「ラブユーフォーエバー」の公演を行いました。(来場者 約2,500人)

(5) 各種団体支援助成

各団体の自立的な活動を支援するとともに、事業費の助成を行いました。

ア 事務局支援

次の団体の事務局として、会議資料等の作成及び市補助金申請等の事務支援を行いました。

民生児童委員協議会、遺族連合会、身体障害者福祉協会、人権擁護委員会、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会(※)

※母子寡婦福祉会への助成は、3共同募金事業(2)ボランティア団体等支援助成(P8)参照

## イ 事業費支援

次の社会福祉増進の事業を行う団体に、補助金を交付しました。

団体名	補助金額（円）	
	平成28年度	平成27年度
仏教会	719,130	719,130
六連地区奉賛会	14,070	14,070
江崎巡查夫妻偉績顕彰会	—	30,000
合計	733,200	763,200

### (6) シルバー見守り事業(市受託事業)

高齢者世話付住宅(久保川住宅)に生活援助員を派遣し、入居高齢者の生活相談等の業務を通じて自立的生活の指導・啓発に努めるとともに、積極的に外部の生きがいがづくり活動の場へ参加を促すことに努めました。

	平成28年度	平成27年度
年間訪問件数	204件	302件
相談室延利用人数	944人	944人

## 2 結婚相談事業(市受託事業)

予算現額	決算額	差異
7,387,000円	5,978,872円	1,408,128円

### [目的]

ふれあい相談センターを開設し、独身男女のふれあいの場等の提供を行い、深刻な結婚難の解消に繋げ、少子化対策に寄与します。

### [主な事業内容・実績]

田原福祉センター内のふれあい相談センター（結婚相談所）に常勤の相談員（ウェディングアドバイザー）を配置し、出会いや結婚に関する相談、各種イベントの開催、企業への協力要請等を行いました。

#### ○ふれあい相談センター

開館日時 祝日、12月29日～翌年1月3日を除くすべての日  
午前9時から午後5時まで

職員体制 相談員（ウェディングアドバイザー）2人交替勤務

区分	平成28年度	平成27年度	
ふれあいカード登録者数(人)※	217	222	
ふれあい相談センター 利用実績(件)	来客	526	795
	電話	359	638
	メール等	192	284
	計	1,077	1,717

ふれあいイベント延参加者数 (開催回数)	178 (9回)	295 (9回)
婚活セミナー延参加者数	20	43
婚活セミナー開催回数	1	1
お見合い件数	15	21
成婚組数	8	10

※ふれあいカード登録者数は、年度末数値で、登録期間は3年間で更新は可能です。

(1) 婚活イベントの開催

結婚を望んでいる独身者のために、ウェディングアドバイザーが中心となり相談業務を行うとともに、独身男女の出会いの場として「ふれあい事業」を実施しました。

宮田村社協との合同企画による一泊二日の中央アルプス駒ヶ岳への登山を中心とした交流事業（婚活イベント）のほか、田原市・JAとの合同企画による農業施設を活用したイベントも行いました。

(2) お見合いのコーディネート

登録制度によりお見合い希望の男女が、プロフィールカードを閲覧の後お見合いの申し出を行い、双方の合意があった場合に、お見合いの機会を提供しました。イベントへの参加が苦手な方にとってはお見合いの方が成婚に至る可能性が高くなっています。

本年度は、15組のお見合いを実施し、3組の方が現在交際中です。

(3) 婚活セミナーの開催

結婚への意識を高めるためにコミュニケーション能力を向上させるセミナーを継続的に開催するなどの支援を実施しました。

### 3 共同募金配分金事業

予算現額	決算額	差異
3,043,000円	3,042,234円	766円

[目的]

共同募金等の配分金を財源として、地域に暮らす人々が共に助け合い、安心して生活を送れるよう、様々な地域課題を解決するための活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 敬老訪問事業
- ボランティア団体の活動支援
- 社会福祉活動協力校への活動助成
- おもちゃ図書館の活動支援
- 母子寡婦福祉会の活動支援
- 福祉のつどい開催

多くの方々のご協力のもと、募金活動を実施し、共同募金運動の推進を図りました。(募金実施期間10月1日～12月31日)

平成28年度の取り組みとして、昨年度に引き続き、バルーンアート・着ぐるみ・レクリエーショングッズを活用した街頭募金活動を各校区市民館まつりで実施しました。

区分	募金額(円)	
	平成28年度	平成27年度
街頭募金	74,574	196,299
イベント募金	315,712	238,339
学校募金	633,259	499,642
職域・戸別募金	1,245,850	1,055,877
法人募金	2,150,870	2,199,000
個人募金	149,340	231,667
その他	87,940	31,410
計	4,657,545	4,452,234

愛知県共同募金会からの一般募金配分金と歳末たすけあい配分金で、次の事業を実施しました。

(1) 敬老訪問

平成28年9月16日、田原市と共催で、満80歳・88歳・100歳以上の高齢者を訪問し、お祝い品を贈呈しました。

区分	平成28年度	平成27年度	記念品
満80歳の方	494人	536人	体温計
満88歳の方	331人	333人	
満100歳以上の方	39人	40人	パットシート
計	864人	909人	

(2) ボランティア団体等支援助成

ボランティア団体等の自主的な活動を支援するとともに、各種事業の助成を行いました。

団体名	助成金額(円)	
	平成28年度	平成27年度
ボランティア連絡協議会	86,000	86,000
あつみNPOネットワーク	86,000	86,000
おもちゃ図書館	50,000	50,000
各ボランティア団体(2団体) ASTC (All Safety of Tahara City) 女性会議WIT	53,000	120,000
母子寡婦福祉会	473,000	473,000
社会福祉協力校※ 小学校18校、中学校6校、高等学校3校	675,000	700,000
計	1,423,000	1,515,000

※社会福祉協力校には、1校最大で5万円（共同募金と社会福祉協議会費から1/2ずつ）を助成しています。事業内容は、6地域福祉ネットワーク事業（6）社会福祉協力校事業（P17）を参照

## ◎地域福祉活動

### 4 ボランティアセンター運営事業

予算現額	決算額	差異
7,385,000円	6,841,501円	543,499円

[目的]

地域の人たちが他者や地域に関心を持ち、できる時にできる事から、助け合い、分かちあえるボランティア活動に取り組めるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

- 各種講座の開催
- ボランティアセンターの運営
- ファミリー・サポート・センターの運営
- 防災ボランティアコーディネーターの養成

(1) 講座開催

ボランティア活動参加への動機づけや技術の向上を図るため、各種ボランティア養成講座を開催しました。

内容	平成28年度		平成27年度	
	開催回数(回)	参加実人数(人)	開催回数(回)	参加実人数(人)
要約筆記教室入門	3	6	3	5
手話教室	7	11	8	12
レクリエーション講座	4	23	6	26
傾聴ボランティア講座	2	27	2	22
男の料理教室	3	10	6	13
ちょボラ講座	1	5	3	29
点字講座	2	10	0	0
計	22	92	28	107

## (2) 広域的ボランティア事業

1月29日、『共に学ぶ(驚愕!)のボランティア集会～笑いの学び舎～』をテーマに、ライフポートとよはしにおいて東三河ボランティア集会を開催しました。午前には米津さち子氏による講演会「笑いは百薬の長」を開催し、午後は環境・防災・レクリエーションなど10テーマに分かれてグループワークを行い、東三河の多くのボランティアと交流を図りました。田原市からも50名のボランティアが参加しました。

## (3) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動に関する相談・登録・紹介・情報提供等を行うとともに、ボランティア活動を行う団体、個人の活動を支援しました。

### ア ボランティア登録状況

平成29年3月31日現在

		平成28年度	平成27年度
個人(人)※		179	152
団体	団体数	93	86
	人数	4,358	3,970

※個人には生活ささえあいネット・サポーター数を含みます。

### イ ボランティア活動に関する相談受付(件数)

	平成28年度	平成27年度
依頼	10	11
紹介	11	5
連絡・調整	13	8
計	34	24

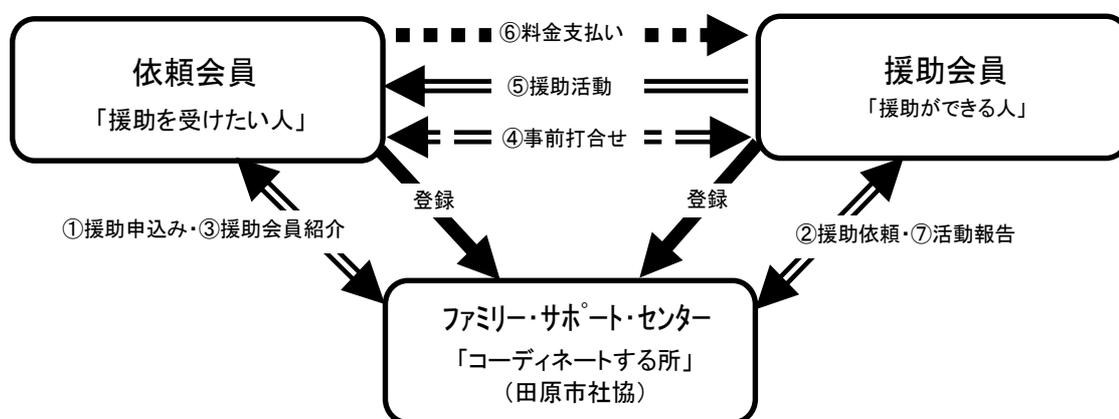
ウ ボランティア活動保険への加入状況

	平成28年度	平成27年度
団体	35団体、974人	38団体、1,000人
個人	51人	68人

(4) ファミリー・サポート・センターの運営(市受託事業)

平成27年4月から社協総務課に事務局を設置し、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助ができる人(援助会員)の会員登録と、依頼会員に対する援助会員の紹介を行いました。

ファミリー・サポート・センター制度概要図



※援助活動料金

- ・月～金曜日(平日) 午前7時～午後7時  
1時間500円(上記時間外600円)
- ・土日・祝日(休日) 午前7時～午後7時  
1時間600円(上記時間外700円)

年末・年始は休日料金となります。

複数の子どもを預ける場合、2人目からは半額となります。

ただし、援助会員1人に対し3人までです。

ア 登録状況

	依頼会員		援助会員		両方会員	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
入会申込	14人	14人	2人	1人	1人	3人
退会届	1人	1人	1人	3人	0人	2人
年度末登録	71人	58人	14人	13人	11人	10人

※年度末登録は、3月31日現在の登録数

## イ 活動実績

活動内容		28年度	27年度
送 迎		0件	3件
預 かり	乳 児	22件	2件
	幼 児	1件	2件
計		23件	7件

### (5) 防災ボランティアコーディネーターの養成(市受託事業)

災害時において、災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災者とボランティアの調整役(コーディネーター)が担える人材を養成することを目的に、防災ボランティアコーディネーター養成事業を実施しました。

開催月	内容	参加人数
7月	防災ボランティアコーディネーター養成講座(2日間)	20人
8月	田原市総合防災訓練にてセンター立上げ訓練を実施	45人
2月	防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	17人

## 5 生活ささえあいネット事業(市受託事業)

予算現額	決算額	差異
9,101,000円	9,091,500円	9,500円

### [目的]

日常生活で支援が必要になっても安心して生活できる地域環境を整えるため、身近な地域での助け合いと地元商店との連携を図ります。

### [主な事業内容・実績]

公的なサービスでは対応できない日常生活でのちょっとした困りごとを、地域住民の「おたがいさま」の気持ちで支え合い、助け合う活動を組織化しました。

- 支援依頼者、サポーター及び協力店舗の登録
- 支援依頼の受付、サポーターへの支援依頼(コーディネート)
- サポーターを対象とした研修の実施及び保険加入手続き
- 地域通貨の発行、換金及び管理



11月	民生委員協議会定例会	田原福祉センター	120名
	若戸校区説明会	若戸市民館	10名
2月	シルバーサロンやまゆり会説明会	衣笠市民館	12名
3月	サポーター説明会	田原福祉センター	24名
	野田校区サポーター説明会	野田市民館	13名
合 計		7回	333名

## 6 地域福祉ネットワーク事業(市受託事業)

予算現額	決算額	差異
11,189,000円	10,662,498円	526,502円

### [目的]

地域住民が相互に協力して障害者や高齢者等に対して支援を行うためのネットワークづくり・地域づくりを推進し、小地域での居場所を提供することで地域福祉の増進を図ります。

### [主な事業内容・実績]

- 地域福祉活動の推進
- 小地域活動を支援するための講座、映画会
- シルバーサロン・ふれあいサロンの運営
- 学校と地域のつながりづくりを支援
- 福祉実践教室開催時における講師の派遣調整
- 小中学校における福祉教育啓発活動

### (1) 地域福祉活動の推進

#### ア 地域課題検討

小地域ごとに関係者が集まり、主に独居高齢者や多問題世帯等が抱える個別事例検討会に出席し、地域福祉活動コーディネーターとして地域で課題解決する際の助言等を行いました。

検討会開催地区	検討会参加者職名・人数
衣笠・南部地区	民生9名、高齢者支援センター4名、社協2名
萱町・本町・新町地区	民生6名、高齢者支援センター4名、社協1名
巴江・蔵王地区	民生8名、高齢者支援センター3名、社協1名

※民生＝地区民生児童委員、社協＝田原市社会福祉協議会職員

#### イ 市民館まつり等応援

市民館まつり等校区コミュニティが開催する行事に出向き、ボランティア活動や共同募金等、社協が行う地域福祉活動に関する啓発を行うとともに、地域住民と交流を図りました。

開催月	行事名	対応状況
5月	童浦市民館まつり	職員4名
6月	清田市民館まつり	職員5名
7月	高松市民館まつり	職員5名
8月	野田夏祭り	職員5名
	亀山市民館まつり	職員6名
	伊良湖市民館まつり	職員4名
10月	田原南部市民館まつり	職員2名、ボランティア1名
	大草市民館まつり	職員3名
	田原中部市民館まつり	職員2名、ボランティア3名
	堀切市民館まつり	職員2名
	田原東部市民館まつり	職員3名、ボランティア5名
	赤羽根市民館まつり	職員3名
	泉市民館まつり	職員3名
	福江市民館まつり	職員2名
	中山市民館まつり	職員5名
	若戸市民館まつり	職員2名、ボランティア1名
	野田市民館まつり	職員3名、ボランティア2名
	神戸市民館まつり	職員2名、ボランティア2名
	衣笠市民館まつり	職員1名、ボランティア2名
和地市民館まつり	職員3名	
11月	六連市民館まつり	職員3名

#### ウ 福祉バス

地域の独り暮らし高齢者のうち、自動車の運転ができないことで買い物に困っている方を対象に実施してきた『買い物支援バス』は、『福祉バス』として高齢者サロン・障害当事者・コミュニティ関係者等が、社会参加や視察研修等、多様なニーズに活用できるように利用幅を広げています。また、多くの団体が社協特別会員として、社協活動への理解と協力を示していただくきっかけとなっています。

利用目的		平成28年度		平成27年度	
		開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)	開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)
買い物 支援	大草	12	238	12	253
	野田	10	186	10	168
	高松・赤羽根	3	60	5	86
	伊良湖	3	60	2	30
サロン活動		33	536	28	513
閉じこもり予防		0	0	5	96

視察研修	11	226	23	426
行事・大会・イベント他	19	313	30	694
合計	91	1,619	115	2,266

(2) 福祉出前講座、なつかしの映画上映会の開催

各地区で行うシルバーサロンや老人クラブなどに出向き、高齢者が楽しみながら健康づくりや福祉サービスについて学べる『出前講座』、若き日を回想しながら交流を楽しむ『なつかしの映画会』を開催しました。

	平成28年度	平成27年度
開催回数	29回	23回
延参加者数	766人	612人

(3) ふれあいシルバーサロン事業

市民館や集会所等身近な場所で、手芸・ゲーム・語らいのひとときを過ごし、地域の中で交流し、元気に長生きすることを目的に「ふれあいシルバーサロン」を設置し、ネットワークづくりに努めました。

自主活動グループによるサロン運営に対して助成金の交付を行うとともに、レクリエーション器材貸出等の支援を実施しました。

27年度から引き続き、地域住民がリーダーとなって新たな居場所づくりに取り組む「コミュニティサロン」の活動支援を行いました。

ア 開催実績

	平成28年度			平成27年度		
	グループ・会場数	延開催回数	延参加人数	グループ・会場数	延開催回数	延参加人数
社協主催サロン※	16会場	366回	3,022人	16会場	396回	3,379人
自主活動グループサロン	20グループ	466回	3,914人	15グループ	456回	3,803人
コミュニティサロン	5グループ	207回	3,835人	5グループ	171回	3,983人
合計	41	1,039回	10,771人	36	1,023回	11,165人

※社協主催サロンには、指導員（臨時職員）を派遣しています。

イ 助成制度

	開催回数	人数	助成金額	備考
シルバーサロン※	月1回以上	5人以上10人未満	20,000円	3年超は2/3助成
		10人以上	30,000円	

コミュニティサロン	月2回以上	10人未満	54,000円
		10人以上20人未満	72,000円
		20人以上	96,000円

※シルバーサロン事業助成で、立ち上げ3年間限定助成は、社協会費を財源とした社協単独助成です。3年間超のシルバーサロン（平成26年度助成開始）とコミュニティサロン（平成27年度助成開始）事業助成は、田原市の間接助成として田原市からの社協への委託料に含まれています。

#### (4) 発達障害者等の障害者支援関係者ネットワークの形成

発達障害研究の第一人者であるカニングハム久子先生を講師に迎え「発達障害児の保護者との関わり方ー私の経験からー」をテーマに、今までの支援の実践の中での事例を紹介・説明して頂きながら、発達障害児の親との関わり方について講演会を開催しました。障害福祉関係者だけでなく、教育・保育関係者や当事者等、多くの参加者が集まりました。

開催日	場 所	参加人数
10月25日	田原福祉専門学校	166人

#### (5) 地域における世代間交流

高松小学校区において学校・自治会・民生委員と協力し、高松小学校6年生による独居高齢者への暑中見舞い訪問を平成24年度から継続しています。

また、シルバーサロン参加者が保育園に出向いて、紙芝居の読み聞かせや折り紙を使った紙芝居による交流会や、シルバーサロンと保育園・子育てサロン合同行事等、地域の中で世代を超えた交流会を多数支援しました。

開催月	行事名	対応状況
5月	赤羽根サロン・小学校交流会	職員1名
6月	高松サロン・保育園交流会	職員2名
	赤羽根サロン・小学校交流	職員1名
	高松小学校暑中見舞い訪問事前講座	職員2名
7月	高松小学校暑中見舞い訪問	職員3名
	高松サロン・子育てサロン七夕交流会	職員2名
	赤羽根サロン・子育てサロン七夕交流会	職員1名
	赤西サロン・赤羽根小6年生交流会	職員2名
8月	東部校区親子バルーン教室	職員4名
	野田サロン・児童クラブ交流会	職員1名
9月	高松サロン・高松保育園交流会	職員1名
	泉サロン・泉保育園交流会	職員2名
10月	折り紙紙芝居交流会 北部保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 高松保育園	職員1名
11月	折り紙紙芝居交流会 漆田保育園	職員1名

12月	折り紙紙芝居交流会 蔵王子ども園	職員1名
	折り紙紙芝居交流会 若戸保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 小中山保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 中部保育園	職員1名
	折り紙紙芝居交流会 六連保育園	職員1名
	折り紙紙芝居交流会 山北保育園	職員1名
	高松サロン・高松子育てサロン Xmas 会	職員2名
	赤羽根サロン・赤羽根子育てサロン Xmas 会	職員2名
1月	折り紙紙芝居交流会 大草保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 神戸保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 泉保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 伊良湖岬保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 東部保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 赤羽根保育園	職員2名
	折り紙紙芝居交流会 中山保育園	職員2名
	高松サロン・高松子育てサロン節分交流会	職員2名
2月	赤羽根サロン・赤羽根子育てサロン交流会	職員1名
	高松サロン・高松子育てサロンひな祭り	職員2名
3月	赤羽根サロン・赤羽根子育てサロンひな祭り	職員1名
	泉サロン・保育園交流会	職員2名

(6) 社会福祉協力校事業

市内の小・中・高等学校(小学校18校、中学校6校、高等学校3校)を福祉協力校に委嘱し、1校最大で5万円の助成金を交付するとともに、福祉実践教室等への講師派遣等を実施し、児童・生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育てるよう支援を行いました。

	平成28年度		平成27年度	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
車いす	12	465	14	533
手話	13	522	13	564
要約筆記	4	184	4	144
点字	8	277	10	334
盲導犬	3	113	2	61
視覚ガイド	9	398	9	316
知的障害	0	0	1	16
高齢者疑似体験	2	56	4	120
講話	2	110	0	0

その他（認知症）	5	224	4	113
計	58	2,349	61	2,201

社会福祉協力校への助成金は、共同募金と社会福祉協議会費から1/2ずつ賄われています。

## ◎福祉サービス利用支援

### 7 成年後見センター事業（市受託事業）

予算現額	決算額	差異
15,878,000円	15,698,000円	180,000円

#### [目的]

判断能力が十分でない障害者や高齢者の日常生活上必要な契約行為・財産の管理、権利侵害に対して、本人やその親族等養護者を支援することにより、本人の利益や権利の擁護に努めます。

#### [主な事業内容・実績]

成年後見制度利用に関する相談や権利侵害への対応、法人後見（身上監護（契約手続等）と財産の管理）の受任などの権利擁護、成年後見業務を行いました。

- 成年後見センター運営委員会の開催
- 法人後見人・法人後見監督人の受任
- 成年後見・権利擁護に関する啓発事業等の開催
- 市民後見人等養成の検討

#### (1) 成年後見センター運営委員会

法律、行政、福祉、医療等の専門職を構成員とし、個別ケースの法人後見受任可否の審議等を行いました。

- 日 時 平成28年12月12日  
 場 所 田原福祉センター ボランティアルーム  
 議 題 委員長、副委員長の選任  
 法人後見受任に係る適否に関する審議（1件）  
 監査報告

#### (2) 成年後見制度や権利擁護に関する啓発

##### ア 田原市成年後見センター講演会の開催

- 開催日時 平成28年12月21日 13時30分～15時30分  
 会 場 田原福祉センター 大会議室  
 内 容 「認知症になった波平さん」～契約社会と成年後見制度～  
 講 師 渡辺哲雄氏（日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員）  
 参加者数 49人

イ その他センター等に関する広報・啓発活動等

(ア) 視察受入

団体 社会福祉法人 菰野町社会福祉協議会（三重県）

日時 平成29年2月27日（月）13時～15時

会場 田原福祉センター 大会議室

内容 田原市成年後見センター（法人後見）の取り組みについて

(イ) 田原市自立支援協議会運営会議（毎月第2火曜日開催）において、講義「成年後見制度の理解について」を実施した。

（実施日時：平成29年3月12日（火）10時～）

(ウ) その他

- ・ 田原市自立支援協議会権利擁護部会（全3回）部会長
- ・ 東三河5市社協成年後見事業情報交換会（全2回（豊川・田原））
- ・ 社協広報紙「福祉だより」掲載 第79号（11月15日発行）
- ・ 社協ホームページ、ブログ等によるPR

(3) 成年後見制度、権利擁護等に関する一般相談、支援（人）

	平成28年度	平成27年度
相談実人数	52	66
うち成年後見申立支援	3	5

(4) 法人後見の受任（人）

	平成28年度	平成27年度
後見	10	11
保佐	4	4
補助	2	2
計	16	17

8 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

予算現額	決算額	差異
429,000円	367,460円	61,540円

[目的]

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助などを行うことで、自立した生活が送れるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

判断能力の不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等）への福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、貴重品の預かり等の支援を行いました。

- 福祉サービスの利用援助（相談・助言・情報提供、連絡調整、代行、代理）
- 日常的金銭管理サービス（利用料：1回 1,200円）
- 書類等の預かりサービス（利用料：年間 3,000円）

(1) 利用者内訳（人）

	平成28年度	平成27年度
昨年からの継続利用者数	5	6
内終了件数	1	2
新規契約件数	2	1
合計	7	7

(2) 区分別利用者数

区分	認知	知的	精神	合計
人数	4	1	2	7

9 資金貸付事業(県社協受託事業)

予算現額	決算額	差異
677,000円	340,000円	337,000円

[目的]

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利子又は無利子で福祉資金の貸付を行い、償還指導や生活援助活動を通して世帯の安定と自立を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 生活福祉資金の貸付
- くらし資金の貸付

(1) 生活福祉資金貸付事業

	平成28年度	平成27年度
相談件数	6	17
貸付件数	0	2

(2) くらし資金貸付事業

	平成28年度	平成27年度
相談件数	3	7
貸付件数	0	1

※相談件数に対して貸付件数が少ないのは、相談をした結果、他の方法で解決し、本申請に至らなかったためです。

## 10 心配ごと相談事業（市受託事業）

予算現額	決算額	差異
2,194,000円	2,016,624円	177,376円

### [目的]

市民の日常生活上の様々な心配ごととの相談に無料で応じ、弁護士・司法書士・行政相談委員・民生児童委員・人権擁護委員等の相談員と連携し、適切な助言・指導等を行うことにより、福祉の増進を図ります。

### [主な事業内容・実績]

○田原福祉センター	奇数月2回（原則第1・第3水曜日） 偶数月3回（原則第1・第3水曜、第4木曜日） 午後1時～午後4時
○赤羽根福祉センター	隔月1回（偶数月第2水曜日） 午後1時～午後4時
○あつみライフランド	奇数月2回（原則第1・第3火曜日） 偶数月1回（原則第1火曜日） 午後1時30分～午後4時
※1件当たりの相談時間は30分	

### (1) 相談実施日等

相談会場	相談日	※相談時間
田原福祉センター	毎月第1・3水曜日 偶数月第4木曜日	午後1時から4時
赤羽根福祉センター	偶数月第2水曜日	午後1時から4時
あつみライフランド	毎月第1火曜日 奇数月第3火曜日	午後1時30分から4時

1件当たりの相談時間は30分

### (2) 会場別相談実績

地区	田原		赤羽根		あつみ		計	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
相談件数	161	170	0	0	48	59	209	229

### (3) 内容別相談実績

内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	1	年金	2	職業・雇用	4
借金	10	貸金	4	多重債務	0
消費者被害	2	財産	4	土地・建物	14
借地・借家	3	境界・登記	5	相続	47
成年後見	1	家族・家庭	15	離婚・養育費	51
損害賠償	8	事故	6	DV・虐待	0
人権法律	0	その他	32		
合計				209件	

## 1 1 障害児相談支援事業

予算現額	決算額	差異
68,000円	68,000円	0円

### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害のある児童やその家族の地域生活を支援します。

### [主な事業内容・実績]

障害のある児童が障害福祉サービスを利用するため、障害児支援利用計画書を作成し、サービス利用支援や訪問等によるモニタリングを行いました。

- 田原市社協相談支援事業所  
 営業日 月曜日から金曜日まで  
 (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
- ・障害児支援利用計画書を作成、福祉サービスの利用援助
  - ・モニタリングの実施

### (1) 利用状況

	平成28年度	平成27年度
利用計画書作成件数	12	6

## 1 2 一般相談支援事業

予算現額	決算額	差異
28,000円	0円	28,000円

### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、精神科病院に長期入院している方を対象に、退院後に地域で安心して生活できるよう、地域移行支援や単身で生活に不安がある方に、地域定着支援を行います。

### [主な事業内容・実績]

- 田原市社協相談支援事業所  
 営業日 月曜日から金曜日まで  
 (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
- ・地域移行支援 (精神科病院に長期間入院している方や、障害者支援施設に入所している方を対象に、退院や退所後に地域に移行して安心して生活できるよう住居確保、体験宿泊支援、障害福祉サービス利用調整等の支援)
  - ・地域定着支援 (病院や施設から退院・退所した方、地域生活が不安定な方を対象に、常時の連絡体制を築き、緊急の事態等に対応する支援)

### (1) 利用状況

	平成28年度	平成27年度
利用計画書作成件数	0	0

※他の事業所に専門の相談員 (精神保健福祉士) の配置があるため作成依頼なし。

### 1.3 特定相談支援事業（市受託事業）

予算現額	決算額	差異
17,258,000円	16,739,254円	518,746円

#### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害者等を対象に、障害福祉サービス利用計画書を作成し、適切なサービス提供を行います。

#### [主な事業内容・実績]

不安の解消や余暇活動等、日常生活の様々な相談に応じる他、就労希望障害者に対して、障害者雇用が可能な企業等を開拓し、就労支援を推進しました。

#### ○田原市社協相談支援事業所

営業日 月曜日から金曜日まで

(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)

- ・サービス等利用計画書の作成、福祉サービスの利用援助
- ・モニタリングの実施
- ・社会資源を活用するための支援
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・権利の擁護のために必要な援助
- ・専門機関の紹介
- ・就労に関する支援
- ・生活保護被保護者への就労支援
- ・市内の障害者等のニーズの把握に関する業務
- ・地域自立支援協議会各会議の運営に関する業務
- ・介護保険サービスとの併用世帯や権利擁護を必要とする障害者に関する相談支援業務等

#### (1) 相談実績

相談方法	※月別相談実人数累計（人）		相談延回数(回)	
	28年度	27年度	28年度	27年度
電話相談	81 (4)	152 (3)	498 (21)	257 (3)
来所相談	56 (3)	75 (5)	154 (4)	100 (7)
訪問・同行	95 (4)	171 (2)	255 (18)	235 (4)
その他(連絡調整等)	230 (21)	206 (12)	2,329 (91)	1,218 (79)
計	462 (32)	604 (22)	3,236 (134)	1,810 (93)

※ 1か月のうちで、同一相談者の相談方法が異なる場合は、それぞれの方法で人数集計するため、人数計は実人数より多くなります。

( )は対応児童数を内数で記載しています。

## (2) 支援実績

支援内容	※月別支援実人数累計(人)		支援延回数(回)	
	28年度	27年度	28年度	27年度
福祉サービスの利用支援 (障害児、一般、特定相談支援含む)	184(11)	202(17)	2,305(94)	1,282(88)
障害や症状の理解に関する支援	7(0)	8(0)	11(0)	25(0)
健康・医療に関する支援	23(1)	26(1)	127(40)	36(1)
不安の解消・情緒安定に関する支援	18(0)	40(0)	57(0)	81(0)
保育・教育に関する支援	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
家族関係・人間関係に関する支援	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
家計・経済に関する支援	1(0)	8(0)	25(0)	11(0)
生活技術に関する支援	2(0)	2(0)	3(0)	2(0)
就労に関する支援	42(0)	143(2)	506(0)	295(3)
社会参加・余暇活動に関する支援	0(0)	3(0)	0(0)	3(0)
権利擁護に関する支援	1(0)	2(0)	2(0)	4(0)
その他情報交換・生活状況確認等	49(0)	62(1)	200(0)	71(1)
計	327(12)	496(21)	3,236(134)	1,810(93)

※1か月のうちで、複数日の相談で支援内容が異なる場合は、それぞれの内容で人数集計するため、人数計は実人数より多くなります。  
( )は対応児童数を内数で記載しています。

## (3) サービス等利用計画作成実績

実利用者数(人)		計画等作成件数(件)	
28年度	27年度	28年度	27年度
132	84	340	212

## (4) 就労支援実績及び支援内容(相談件数は(1)(2)に含む)

## ア 支援対象者数(人)

## (ア) 障害別

身体障害		知的障害		精神障害		その他(※)		計	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
4	11	26	42	20	30	2	5	52	88

※「その他」とはうつ病、発達障害、パニック障害等の障害者手帳未所持者

## (イ) 就労状況別

在職		求職		計	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
31	38	21	50	52	88

イ 就職等の状況（人）

就労支援		定着支援		※定着支援のうち			
				福祉的就労		実習・訓練等	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
21	36	31	38	1	2	2	0

1.4 高齢者支援(地域包括支援)センター事業(市受託事業)

予算現額	決算額	差異
34,078,000円	33,479,270円	598,730円

[目的]

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、介護・保健・医療・福祉の増進を包括的に支援します。

[主な事業内容・実績]

○総合相談支援業務
○権利擁護業務
・高齢者虐待の防止等
○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
○介護予防ケアマネジメント業務
○認知症に関する取り組み
・認知症地域支援推進員を中心に認知症高齢者に対する相談、認知症を支援するネットワークづくり、啓発等
○地域ケア会議の推進
○在宅医療・介護連携

窓口	設置場所	営業日	担当圏域
主センター (総合相談)	赤羽根福祉センター	月曜日から 金曜日まで (祝日、12 月29日～翌 年1月3日を 除く)	野田小学校区 赤羽根中学校区 泉中学校区 伊良湖岬中学校 区
サブセンター (総合相談)	あつみライフランド		
ブランチ (窓口機能)	田原福祉センター		

(1) 総合相談支援業務

生活圏域の身近な相談窓口として、高齢者やその家族からの介護や生活等の相談、独居高齢者・高齢者世帯の訪問や要支援者への相談支援を行いました。必要に応じ地域ケア会議を開催し、チームでの個別支援とネットワーク構築に向けた地域課題把握等を行いました。

ア 主センター・サブセンター対応実績

圏域	訪問(件)		電話(件)		来所(件)		計(件)	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
野 田	156	124	57	47	10	5	223	176

赤羽根	258	220	130	181	90	50	478	451
泉	140	180	59	62	25	19	224	261
伊良湖岬	255	267	89	80	82	43	426	390
担当圏域外	51	88	85	49	106	57	242	194
計	860	879	420	419	313	174	1,593	1,472

## イ ブランチ対応実績

圏域	訪問(件)		電話(件)		来所(件)		計(件)	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
野田	0	0	3	1	6	6	9	7
赤羽根	0	1	1	3	4	8	5	12
泉	0	0	0	0	3	1	3	1
伊良湖岬	0	0	1	1	2	1	3	2
福江	0	0	1	1	1	1	2	2
東部	0	1	4	2	16	16	20	19
田原(童浦小校区除く)	0	0	3	4	14	14	17	18
田原(童浦小校区)	0	0	1	3	0	11	1	14
市外・不明	0	0	7	6	13	4	20	10
合計	0	2	21	21	59	62	80	85

### (2) 権利擁護業務

高齢者虐待関連等の相談や報告を受けて事実確認するなど、田原市担当課と連携して、高齢者・養護者の支援等に取り組みました。成年後見制度、日常生活自立支援事業の利用可能性が高い相談は、成年後見センターと連携を図り支援しました。

援助項目	延件数(件)	
	28年度	27年度
成年後見制度等の利用	4	1
虐待への対応	2(実人員1)	15(実人員3)
消費者被害への対応	0	0
困難事例への対応	2	0
計	8	16

### (3) 介護予防ケアマネジメント業務

#### ア 二次予防

	28年度	27年度
電話(件)	20	35
来所(件)	18	2
訪問(件)	204	270
合計	242	307

イ 予防プラン作成業務（要支援の方）

	28年度	27年度
年度末登録者数(人)	139	131
予防プラン作成件数(件)	1,658(委託件数0件)	1,542(委託件数0件)

(4) 地域介護予防・普及啓発事業

市民を対象に健康講座等を実施した他、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの一環として認知症サポーター養成講座を実施しました。

ア 認知症サポーター養成講座

開催月	会場	対象者	参加人数
4月	大草市民館	大草熟年友の会会員	29
7月	若戸小学校	若戸小学校6年生	14
9月	田原福祉センター	郵便局員	20
	野田小学校	野田小学校生	28
計			91

イ 出前講座

開催月	会場	対象者	内容	参加人数
7月	彦田公民館	彦田老人会	認知症予防について	22
10月	高松小学校	高松小学校5年生	防災と認知症	18
11月	赤羽根中学校	赤羽根中学校1年生	認知症について	55
	赤羽根福祉センター	社協ヘルパーステーション職員	認知症の基礎知識と様々な施策	20
合計				115

1.5 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）＜新規＞

予算現額	決算額	差異
11,094,000円	9,755,315円	1,338,685円

[目的]

さまざまな困難の中で生活に困窮している人に包括的な相談支援を行い、生活保護に至る前に自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析（アセスメント）し、その課題を踏まえた個別の「自立支援計画」を作成しました。

田原福祉センター、赤羽根福祉センター及びあつみライフランドに職員を配置し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

○職員体制

(1) 主任相談支援員兼就労支援員 1人（田原福祉センター）

(2) 相談支援員 2人（赤羽根福祉センター、あつみライフランドに各1人）

○利用対象者

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方

(1) 相談実績（件）

相談経路	平成 28 年度	平成 27 年度
本人（来所）	17	/
本人（電話）	4	
家族・知人（来所）	1	
家族・知人（電話）	1	
自立相談機関が把握	2	
関係機関・関係者紹介	24	
その他	0	
計	49	

(2) 自立支援計画作成実績（件）

	平成 28 年度	平成 27 年度
計画作成件数	6	/

1 6 生活困窮者就労準備支援事業（市受託事業）＜新規＞

予算現額	決算額	差異
3,317,000円	3,050,215円	266,785円

[目的]

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に、生活習慣確立のための指導等を行い、日常・社会生活の自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

就労に向けた準備として、日常生活自立、社会生活自立支援段階から相談に応じ、社会・就労への第一歩を支援しました。

○職員体制

就労準備支援員 1人（田原福祉センター）

○利用対象者

就労にむけた準備が整っていない生活困窮者であって、田原市生活困窮者就労準備支援事業実施要綱第3条に規定する支援対象者

(1) 利用実績 相談件数 10件

### 1 7 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法に基づく事業）

予算現額	決算額	差異
10,770,000円	10,360,242円	409,758円

#### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定居宅介護事業所として、利用者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことを支援します。

#### [主な事業内容・実績]

介護を必要とする身体障害者(児)宅、知的障害者(児)宅又は精神障害者(児)宅に在宅生活を援助するため、ホームヘルパーを派遣しました。

○田原市社協ヘルパーステーション

営業日 年中無休（ただし、年末年始利用は要相談）

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
29	27	2,973	3,038	2,803	2,813

派遣世帯数については、年度末における数値

### 1 8 就労移行支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

予算現額	決算額	差異
23,075,000円	22,016,195円	1,058,805円

#### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、一般企業への就職を希望し、雇用される見込みのある障害者に対して「安心して働き続けること」を目標に支援します。

#### [主な事業内容・実績]

本人の意向・適性に基づいた計画書を作り、施設内での就労訓練や職場実習等を行うことにより、早期の就労を図るとともに、就職後も定期的なフォローアップを行い、安定して働き続けることを目標に支援しました。

○田原市社協就労移行支援事業所

営業日 月曜日から金曜日まで

(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)

場 所 田原福祉センター内（赤石二丁目2番地）

#### (1) 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
28年度	27年度	28年度	27年度
14	15	2,476	2,560

利用者数については、年度末における数値

## 19 移動支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

予算現額	決算額	差異
7,162,000円	6,997,838円	164,162円

### [目的]

障害者総合支援法における田原市等の地域生活支援事業の指定事業所として、障害者児の余暇支援等が適切に行えるよう外出援助を行います。

### [主な事業内容・実績]

介護を必要とする身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(児)の社会参加などの際の外出支援を行いました。田原市在住の他市利用者も昨年に引き続き支援を行いました。また、グループ支援での提供も毎月行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション	
営業日	年中無休(ただし、年末年始利用は要相談)
場所	赤羽根福祉センター内(赤羽根町赤土1番地)

### 事業実績

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
31	32	3,043	3,075	859	904

派遣世帯数については、年度末における数値

## 20 日中一時支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

予算現額	決算額	差異
21,790,000円	19,310,712円	2,479,288円

### [目的]

田原市地域生活支援事業の指定事業所として、障害者(児)の日中における活動の場を確保するとともに、家族の日常的な介護負担を軽減します。

### [主な事業内容・実績]

日常生活の反復や余暇活動をはじめとした必要な訓練等を行い、障害者(児)及びその家族の地域における日常生活を支援しました。

○田原市社協日中一時支援事業所あつみ	
営業日	月、木、土曜日及び祝日 田原市立学校等管理規則に定められる休業日の期間中は月曜日から土曜日まで(12月31日～翌年1月3日を除く)
場所	岡ノ越会館(古田町岡ノ越6番地109)
○田原市社協日中一時支援事業所なのはな(18歳以上の障害者を対象)	
営業日	月曜日から金曜日まで (12月31日～翌年1月3日を除く)
場所	赤羽根福祉センター(赤羽根町赤土1番地)

(1) 利用実績

事業所	利用者数(人)		延利用回数(回)	
	28年度	27年度	28年度	27年度
あつみ	24	18	1,076	833
なのはな	22		2,247	
計	46	18	3,323	833

利用者数については、年度末における数値

## ◎在宅福祉サービス

### 2.1 居宅介護支援事業(介護保険事業)

予算現額	決算額	差異
81,141,000円	71,737,320円	9,403,680円

[目的]

介護保険法の居宅介護支援事業の指定事業所として、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮して介護支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者とその家族の生活を支援しました。

赤羽根及び渥美の2箇所にて拠点を設置し、介護サービス等に関する相談支援を行いました。

○田原市社協あかばねケアプランセンター

営業日 月曜日から金曜日まで

(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)

場 所 赤羽根福祉センター内(赤羽根町赤土1番地)

○田原市社協あつみケアプランセンター

営業日 月曜日から金曜日まで

(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)

場 所 あつみライフランド内(保美町寺西21番地10)

(1) 利用実績

事業所	年度末登録者数(人)		プラン作成件数(件)	
	28年度	27年度	28年度	27年度
赤羽根	186	200	2,123	2,399
あつみ	191	205	2,278	2,320
計	377	405	4,401	4,719

## 2.2 訪問介護事業（介護保険事業及び市受託事業）

予算現額	決算額	差異
47,608,000円	46,084,860円	1,523,140円

### [目的]

介護保険法の訪問介護及び介護予防訪問介護事業の指定事業所として、利用者の意欲を高めるような適切な働きかけを行うとともに、利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行います。

### [主な事業内容・実績]

介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

実績の派遣世帯数については、年度末における数値です。

○田原市社協ヘルパーステーション

営業日 年中無休（ただし、年末年始利用は要相談）

場 所 赤羽根福祉センター内（赤羽根町赤土1番地）

#### (1) 訪問介護（介護度 要介護1～5）

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
29	32	3,153	3,765	3,805	4,631

30分未満の身体介護の利用者が大きく減少しました。

#### (2) 介護予防訪問介護（要支援1～2）

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
29	33	2,695	2,940	2,732	2,991

週1回程度の利用者が減少しました。

#### (3) 高齢者家事援助サービス事業(市受託事業)

社会的支援が必要な高齢者宅に、在宅生活を援助するためホームヘルパーを派遣しました。利用者が介護保険の対象となったため、派遣世帯・時間・回数ともに減少しました。

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
1	4	98	149	98	149

#### (4) 障害児童・生徒学校介助員派遣事業(市受託事業)

身体・精神・知的障害のある児童に学校で介助を行うためホームヘルパーを派遣しました。昨年度2学期以降は利用がなく、今年度当初より2名を

支援したが、1学期終了後に1人に減少した。

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
1	0	1,754	788	271	128

### 2 3 福祉車両運行サービス事業

予算現額	決算額	差異
2,504,000円	2,073,182円	430,818円

[目的]

高齢や障害により自力で公共交通機関を利用することが困難な方を会員として、医療機関や公共施設などへの移動手段として福祉車両による送迎を行い、在宅生活の支援に努めます。

[主な事業内容・実績]

医療機関や公共施設などへ移動する際の送迎サービスを行いました。

- 月曜日から金曜日まで(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)  
午前8時30～午後5時15分
- 利用料金は、利用者の家から目的地までの距離とする
- 発着のどちらかが、田原市内であることが条件

#### (1) 利用実績

事業所	年間延利用件数(件)					
	高齢者		障害者		計	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
田原	909	1,051	317	339	1,226	1,390
赤羽根	7	2	6	0	13	2
渥美	199	128	28	38	227	166
計	1,115	1,181	351	377	1,466	1,558

### 2 4 配食サービス事業(市受託事業)

予算現額	決算額	差異
6,945,000円	6,812,618円	132,382円

[目的]

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯へ昼食の配達と配達時の安否確認を行い、在宅生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

週5回、昼食の配達を行うとともに、安否確認を実施しました。

- 月曜日から金曜日まで(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
- 利用者本人の負担は食事代実費(400円又は520円)

## (1) 利用実績

事業所	実利用者数(人)		延配食数(食)	
	28年度	27年度	28年度	27年度
田原	50	47	5,248	4,831
赤羽根	10	8	912	983
渥美	52	51	3,554	3,821
計	112	106	9,714	9,635

## 2.5 高齢者介護予防事業(市受託事業)

予算現額	決算額	差異
13,051,000円	12,295,481円	755,519円

## [目的]

在宅で生活している高齢者の方が、できる限り要支援状態や要介護状態にならないように、生きがいや健康づくり活動などの介護予防事業を実施して、地域で自立した生活が確保できるように支援します。

## [主な事業内容・実績]

○閉じこもり予防教室
○高齢者筋力トレーニング教室
○通所型介護予防事業（二次予防事業）
○通所型介護予防事業（フォローアップ教室）

## (1) 閉じこもり予防教室

病気や加齢又は環境の変化等による身体・精神機能の低下により、閉じこもり傾向の強い高齢者を主な対象者として、健康の維持・回復、認知症や寝たきりの予防を目的に「閉じこもり予防教室」を田原市内9校区の12会場で開催しました。

会 場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
野田市民館	12	12	11	7	94	68
高松市民館	12	12	17	18	177	150
赤羽根市民館	12	24	11	18	103	352
赤西公民館	12	0	14	0	104	0
若戸市民館	12	12	17	17	167	178
池尻集会場	12	12	11	14	109	93
福江市民館	12	12	28	31	250	280
あつみライフランド	12	12	7	10	67	87
清田市民館	12	12	6	8	55	54

泉市民館	12	12	5	10	48	69
和地市民館	12	12	5	5	50	54
堀切市民館	12	12	7	7	69	72
計	144	144	139	145	1,293	1,457

## (2) 高齢者筋力トレーニング教室

足腰の筋力が低下している高齢者を主な対象者として、筋力を向上させることを目的に「高齢者筋力トレーニング教室」を田原市内8校区の13会場で開催しました。会場については、利用者が集まりやすいよう地区の市民館等を利用して開催しました。

会 場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
野田市民館	24	24	14	12	263	199
高松市民館	24	24	23	26	427	358
高松一色集会場	24	24	15	16	250	261
赤羽根市民館	24	48	16	29	209	403
赤西公民館	24	0	21	0	285	0
若戸市民館	24	24	18	17	324	337
池尻集会場	24	24	14	14	204	189
福江市民館	24	24	34	34	600	559
清田市民館	24	24	18	15	287	186
中山市民館	24	24	11	10	168	173
小中山総合会館	24	24	32	28	405	467
亀山市民館	24	24	11	6	115	77
あつみライフランド	52	52	31	41	968	1,220
計	340	340	258	248	4,505	4,429

## (3) 二次予防対象者の運動器の機能向上トレーニング教室

二次予防対象者(介護が必要となるリスクが高い方)のうち、筋肉や関節等の機能向上が望ましいと判断された方に対して、「二次予防対象者の運動器の機能向上トレーニング教室」を赤羽根福祉センターとあつみライフランドの2会場で開催しました。社会福祉協議会以外にあつみの郷、デイサービスやわら、デイサービスぽかぽかで実施されています。

会 場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
赤羽根福祉センター	32	48	24	40	357	547
あつみライフランド	96	80	60	60	852	966
計	128	128	84	100	1,209	1,513

(4) フォローアップ教室

平成27年度に二次予防対象者の運動器の機能向上トレーニング教室に参加された方を対象に、「フォローアップ教室」を赤羽根福祉センターとあつみライフランドの2会場で開催しました。

会 場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
赤羽根福祉センター	12	24	10	21	107	235
あつみライフランド	36	24	34	26	371	265
計	48	48	44	47	478	500

◎施設・指定管理

2.6 田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの管理運営（市受託事業）

事業名	予算現額	決算額	差異
田原福祉センター 管理運営事業	44,713,000円	41,936,853円	2,776,147円
赤羽根福祉センター 管理運営事業	16,197,000円	14,910,339円	1,286,661円

[目的]

田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの指定管理者として、利用者層を拡大し、高齢者・障害者等の福祉の向上、健康増進及び地域福祉の推進を図ります。

[主な事業内容・実績]

施設の適切な管理運営を行うとともに、地域福祉の推進を目的とした各種事業の実施を通じて市民が親しみやすい施設運営を行いました。また、ふれあい・いきいきサロンの定着化や季節のイベントの開催など、施設の有効活用及び利用促進を図りました。

(1) 福祉センター利用状況（延べ利用者数）

	田原福祉センター		赤羽根福祉センター	
	28年度	27年度	28年度	27年度
一般利用	51,732	59,200	-	-
会議室利用	34,278	31,744	4,127	5,241
健診等	6,567	6,770	362	302
その他※	7,577	6,281	2,247	2,215
合 計	100,154	103,995	6,736	7,758

※ 各センターのその他欄は、以下ア、イ(ア)の実績を掲載

ア 田原福祉センター

「田原市社協就労移行支援事業所利用者数」2,476人

「豊川保健所田原保健分室利用者数」5,101人

イ 赤羽根福祉センター

(ア) 「日中一時支援事業所なのはな利用者数」2,247人

(イ) 季節感ある催事「赤羽根福祉センターふれあいまつり」を通し、赤羽根福祉センターの他事業所や地域住民との交流を図りました。

ふれあい夏まつり「屋台と盆踊り」（平成28年8月20日）参加180人

ふれあい交流会「餅つきと豆まき」（平成29年2月4日）参加150人

(2) 田原福祉センターに設置されている事務所機能

田原福祉センターは、老人福祉センター機能を有するとともに市民の健康診断や予防接種などを行う場所として市民に親しまれています。

また、ボランティアグループや各種の福祉関係団体の自主的な活動を応援するため会議室の土曜日、日曜日及び夜間使用も予約制で利用可能とするなど市民活動の拠点としても親しまれています。

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

(ア) 各種団体の事務局を担当 { P 4 (5)各種団体支援助成 参照}

(イ) 田原市社会福祉協議会

(ウ) 田原市成年後見センター

(エ) ボランティアセンター

(オ) ふれあい相談センター（結婚相談）

(カ) 田原市社協就労移行支援事業所

イ 豊川保健所田原保健分室

ウ 公益社団法人 田原市シルバー人材センター

エ 田原市障害者総合相談センター

オ こども発達相談室

カ 母子寡婦福祉会（喫茶及び売店）

(3) 赤羽根福祉センターに設置されている事務所機能紹介

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

(ア) 田原市社協あかばねケアプランセンター

(イ) 田原市社協ヘルパーステーション

(ウ) 田原市社会福祉協議会高齢者支援センター

(エ) 高齢者介護予防事業所

(オ) 日中一時支援事業所なのはな

イ 赤羽根デイサービスセンター(福寿園)

## ◎事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告の附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがないため、作成を省略する。